



平成30年度

埼玉県U-14強化指定選手選考会兼埼玉県選抜選考会実施要項

一般社団法人埼玉県バスケットボール協会
ユース育成委員会

1. 目的 ①将来日本代表となる優秀な素質を持つ選手や可能性の高い選手に定期的に良い育成環境を提供し、個を大きく育てる。
②指導者の研鑽の場として指導者を養成する。
③広く県全域から優秀な選手を選出して、埼玉県代表チームを結成し、ジュニアオールスター大会への強化を図る。
2. 主催 一般社団法人埼玉県バスケットボール協会ユース育成委員会
3. 日時 平成30年12月15日(土) 8:45~16:30
16日(日) 8:45~12:30
22日(土) 8:45~12:30
4. 会場 12月15日(土)【男子】吹上コスモスアリーナ
【女子】滑川総合体育館
12月16日(日)【男女】吹上コスモスアリーナ
12月22日(土)【男女】熊谷スポーツ文化公園内くまがやドーム
5. 参加チーム 11地区選抜チーム
①東部A ②東部B ③東部C ④西部A ⑤西部B ⑥西部C
⑦南部A ⑧南部B ⑨北部 ⑩さいたま市A ⑪さいたま市B
6. 選考委員 選考責任者：田中英夫(県ユース育成委員会委員長)
【男子】①オールスターベンチスタッフ
監督：櫻井智彦(大井中)
コーチ：自由紀宏(ガウチョーズ)
マネージャー：立花正司(越生中)
②U-14担当スタッフ(各地区選抜スタッフとの掛け持ちはしない)
【女子】①オールスターベンチスタッフ
監督：百北真一(寄居中)
コーチ：関根貴江(春日部東中)
マネージャー：田中英夫(豊野中)
②U-14担当スタッフ(各地区選抜スタッフとの掛け持ちはしない)
7. 選考内容 15日(土) 県強化指定選手25名を選考
16日、22日(日) 県強化指定選手の中から、県選抜選手(オールスター)を12名選考。
※ただし、オールスター選手に関しては強化指定選手以外の1年生を選考対象とすることもできる。



8. 選考に関する諸規定

- ① 県強化指定選手（25名）に関しては2年生のみを対象とする。
- ② オールスター選手に関して、戦力として認められる場合には県強化指定選手以外の1年生を選考対象とすることができる。
- ③ オールスター選手に関して、JBAの規定により同一校5名以上選出することができない。

9. 試合形式 12分1本ゲーム バイオレーションは流し タイムアウト2回まで
チームファールは7回目からフリースロー

10. 12月15日の日程

開始 目安	9:30	開会式									
	対戦	Aコート				Bコート					
		対戦	T0	審判	対戦	T0	審判				
①	9:50	東部 B	-	西部 A	さいたま A	北部	東部 A	-	西部 B	さいたま B	西部 C
②	10:10	北部	-	東部 C	西部 B	東部 B	南部 B	-	西部 C	東部 A	南部 A
③	10:30	東部 B	-	さいたま A	南部 B	西部 A	南部 A	-	さいたま B	東部 C	東部 A
④	10:50	北部	-	西部 A	東部 B	さいたま A	東部 A	-	西部 C	南部 A	西部 B
⑤	11:10	南部 B	-	さいたま A	西部 A	南部 A	東部 C	-	西部 B	西部 C	さいたま B
⑥	11:50	東部 B	-	さいたま B	さいたま A	南部 B	東部 A	-	北部	東部 C	西部 B
⑦	12:10	南部 B	-	西部 A	北部	さいたま B	西部 B	-	南部 A	東部 A	東部 C
昼食休憩											
⑧	13:30	東部 B	-	西部 C	南部 B	西部 A	東部 C	-	さいたま B	西部 B	南部 A
⑨	13:50	さいたま A	-	東部 A	西部 A	東部 B	南部 A	-	北部	東部 C	西部 C
⑩	14:10	東部 B	-	南部 B	東部 A	東部 C	さいたま B	-	西部 C	南部 A	北部
⑪	14:30	西部 A	-	さいたま A	南部 B	東部 A	西部 B	-	北部	西部 C	さいたま B
⑫	14:50	さいたま B	-	東部 A	東部 B	さいたま A	東部 C	-	南部 A	西部 A	北部
⑬	15:10	さいたま A	-	西部 B	東部 B	南部 B	北部	-	西部 C	さいたま B	西部 A
⑭	15:30	南部 B	-	東部 C	さいたま A	西部 B	西部 A	-	南部 A	北部	西部 C
	16:00	閉会式									

※試合開始時刻は目安であり、早まる場合がある。



埼玉県 U-14 強化指定選手・埼玉県選抜選手 選考基準

一般社団法人埼玉県バスケットボール協会
ユース育成委員会

- ①埼玉県代表として相応しい、自覚・態度・行動・礼節を備えている。
(あいさつ・返事・学校生活において素行のよい生徒・コミュニケーション能力等)
- ②本人、保護者ともに、ユース育成の活動の趣旨を理解し、協力できる家庭。
- ③全国の頂点を目指し、日本一に近いレベルを持っている。
- ④「ボールコントロール」「ボディコントロール」「セルフコントロール」の三つがバランスよく備わっている。
- ⑤ポジション別選考基準

『ガード：1番・2番』

- A：ゲームメイク・ゲームコントロールに優れている。プレスDFへの突破力が高い。
- B：外角シュートを備えている。ファウルを貰いにいける力がある。
- C：広い視野を持ち、パスセンスに優れている。ボールを持ちすぎない。
- D：オールコートに渡るスタミナ・ディフェンス力をもっている。
- E：ドリブルワークに優れ、突破力があり、ボールを失うことなく、キープできる。

『フォワード：3番・4番』

- A：速攻の一線を走る「走力」を備えている。
- B：内外角にわたる、幅広い得点力（3ポイントの成功率が高い）を備えている。
- C：オフェンス及びディフェンスのリバウンド力に優れている。
- D：内外角のディフェンス力が高い。（インサイド、アウトサイドの両方を守ることができる）特に相手のポイントゲッターを抑える力がある。
- E：パスのセンスにも優れパスゲームを意識した走りができる。ドリブルの持ちすぎが無い。

『センター：5番（4番）』

- A：オフェンス及びディフェンスリバウンドへ献身的、持久的に飛び込める。
- B：ゴール下はもとより、ペイントエリアでの得点力が高い。
- C：走ることができ、ボールハンドリングがよい。
- D：身体接触を嫌がらず、当たり負けしない。シュートブロックが積極的にできる。
- E：オフェンス、ディフェンスともにポジション取りに優れている。

以上がスキルの参考基準であるが、バスケットボールという競技は、「合わせ」「読み」「間」「呼吸」「見極め」といった感覚的なもの（感性）や経験も重要な要素である。年度により、ポジション等の人数バランスの関係で選考基準レベルも若干変動する。